

安全・安心なまちづくりに向けて

「安全」と「安心」。これはまちづくりの要であり、行政・市民・各団体が一体となって取り組むことで、初めて実現できるものです。交通事故や火災、犯罪などの人災、地震・大雨などの天災…。私たちの生活を脅かす危険は、身近なところにも潜んでいます。「自助」「共助」「公助」の観点から、みんなで私たちのまちを守っていきましょう。

生活環境課 ☎22-1314

■悲惨な事故を防ぐために
10月末に、市内で高齢者が犠牲になる死亡事故が発生しました。事故が発生したのは夕暮れの間帯です。尊い命が失われたことはとても残念なことです。ドライバーや歩行者の皆さん、悲惨な事故が起こらないよう、安全確認を忘れずに行ってください。

- 高齢者の皆さんへ
夕暮れ時や夜間の外出は、できるだけ明るい色の服装や反射材を身に付けましょう。
- 道路を横断するときは、左右の安全を確認しましょう。
- ドライバーの皆さんへ
ライトは早めに点灯しましょう。夕暮れ時や夜間は、しっかりと前方を確認しましょう。
- 安全な速度で、思いやりのある運転を心掛けましょう。

■災害協定を締結しました
今後30年以内に99%の確率で発生すると予測されている宮城県沖地震などの大規模災害に備えて、本市では白石市建設職組合や(社)宮城県建築士会白石刈田支部との間で新たに災害協定を締結しました。協定書の内容は、災害の迅速な復旧を図るため、市の要請により両団体が危険家屋の危険度判定や必要な情報収集などに協力するというものです。

本市ではこれまで、災害発生時に必要な物資や移動式トイレを優

■青色回転灯自動車を防犯パトロールに出動
10月13日、鎌先駐在所において鎌先地区防犯協会の青色回転灯自動車による防犯パトロール出動式が行われました。

先的に供給・レンタルするなどの協定を複数の民間企業との間で締結しています。

鎌先地区防犯協会では、福岡中学校PSCパトロールとの連携や車上荒らし撲滅活動など、熱心な防犯活動を行っており、今回、市内初となる青色回転灯自動車2台が県警察より許可を受け運用開始となりました。地域の安全・安心を見守る大切な青い光。これからの活躍が期待されます。

▲出動する青色回転灯自動車。今後、地域の安全を見守ります。

▲10月17日に行われた調印式



「しろいし安心メール」配信中心!

本市では、市民の皆さんに向けて、災害関係情報や市からのお知らせなどをメールで配信しています。ぜひご登録ください。

●配信情報

- ①火災や地震などの災害関係情報
- ②イベントの開催や中止情報などの市からのお知らせ

●登録方法

- ①携帯電話やパソコンから空メールを送ることで、登録することができます。
- ②「shiroi@posh.jp」のメールアドレスに空メールを送信します。
- ③折り返し、「登録案内」メールが着信します。
- ④本文に従って、登録窓口のリンクを押します。
- ⑤登録受付窓口の画面が開いた

お子さんが市内の保育園や幼稚園、小中学校へ通っている方を対象に、不審者情報や連絡メールを配信しています。この場合の登録方法は、各校・各園から直接お知らせします。詳しくはお問い合わせください。

生活環境課交通防災係
☎22-1314

芸術の秋! スポーツの秋! 市内でたくさんのイベントが行われました

白石川サッカー公園で清掃活動

(10月21日、白石川サッカー公園)

白石サッカー協会が主催した活動には、スポーツ少年団、中学・高校、社会人・シニアチームなどから約250名が参加。1時間ほどで軽トラック7台分の雑草を刈り取りました。



▲一日も早い再開を!

平成19年城の会

(10月21日、白石城本丸内)

今年の城の会は白石城茶会と同時開催。会場内に設置された特設舞台では琴や日舞、詩吟などが次々に披露され、訪れた人は古典芸能の魅力を心ゆくまで堪能していました。



▲美しい琴の音色が響きわたる白石城

大道芸・ふるさと芸能踊り & お国自慢のふるさと鍋まつり

(11月10日、市中心部)

多彩な大道芸の技や、沖縄エイサー踊り、よさこい踊りなどの披露、県内各地の地元鍋料理の振る舞いなどが行われ、会場の中町歩行者天国は大勢の市民でにぎわいました。



▲一輪車を使った大道芸

第15回白石市生涯学習フェスティバル

ベガルタ仙台サッカー教室・おもしろサイエンスショー

10月28日、ベガルタ仙台の指導者を招き、市内の小学生を対象にしたサッカー教室が白石高校第2グラウンドで開催されました。



▲楽しくボールを追いかける子どもたち

今年で8回目を迎える教室には、市内の小学生約50人が参加。低・中・高学年の3組に分かれ、パスやドリブル、ヘディングなどの練習を行いました。最後に、子どもたちとコーチ陣のミニゲームが行われ、子どもたちは目を輝かせてボールを追いかけていました。

また、11月13日には、第二小学校で市内の小学5・6年生を対象にした「でんじろう直伝!『おもしろサイエンスショー』」が行われました。

ショーでは、テレビでおなじみの米村でんじろうさんの弟子、チャーリー西村さんが次々と楽しい科学の実験を披露。手作りブーメランや空気砲、風船を使った実験など、見たこともない大掛かりな実験に、参加した600人の子どもたちは目を輝かせていました。



▲巨大空気砲を使った実験

であい・ふれあい・ささえあい

第9回福祉まつり

10月28日、ホワイトキューブで第9回福祉まつりが開催され、約1,700人の来場者でにぎわいました。「であい、ふれあい、ささえあい」をキャッチフレーズに開催された今年のおまつりでは、車いすや目隠しなどの体験コーナーや市内の福祉施設の皆さん手作りの品々を格安で提供する販売コーナーなど、多くのブースが設けられました。障害者の皆さんのステージ発表では、多くの皆さんから大きな拍手が送られました。



▲大きな拍手が送られたステージ発表

音楽から心の元気を!

まちなか音楽祭 Musicライブ2007

11月3日、すまいるひろばを会場に「まちなか音楽祭 Musicライブ2007」が行われました。この催しは「音楽から心の元気を」と、(社)白石青年会議所が主催したものです。



▲白石中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏
昼の部・夜の部に分かれて行われた音楽祭には、白石中学校吹奏楽部の皆さんのほか、「まか」、「Thorn」、「まぐのりあ」、「すみれ」などのアーティストが参加。迫力のロックや美しい歌声が響きわたり、会場はたくさんの人でにぎわいました。